

ユーザー様用



工 事 用

発熱複層ガラスシステム用

A Cパワーコントローラー

DU23-10A 型 Ver1.1

取扱い説明書



はじめに

この度は sunwizz 発熱複層ガラスをお買い上げいただきましてありがとうございます。
発熱複層ガラスは、大きさにより必要な電力量が異なります。過度な電力を供給するとガラスが高温となり、破損のおそれがあります。A Cパワーコントローラーは、発熱複層ガラスに供給する電力量を適度にコントロールする装置です。

52001-WTY-008-12

2025/05/28

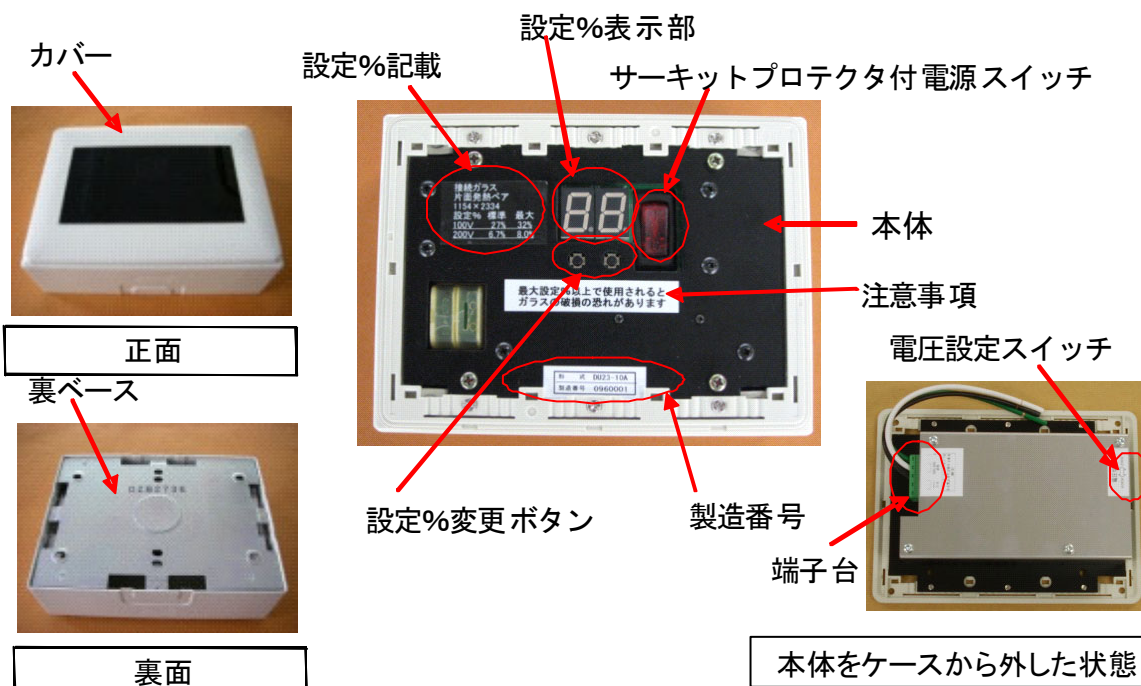


発熱複層ガラス製品は電気を使用するガラス製品です。破損により怪我、火傷、感電のおそれがあります。

ご使用いただくに当たり、下記注意事項をよくお読みになり、この取扱い説明書を大切に保管していただきますようお願いいたします。

1. コンセントを使用する場合は、定格 10A 以上のコンセントを単独で設けて下さい。
2. 発熱複層ガラスは接続図に従って接続して下さい。
3. サイズの異なる発熱複層ガラスは並列又は直列に接続しないで下さい。
4. 水のかかる所での使用は避けて下さい。
5. 天井裏などの埃の溜まりやすい場所では使用しないで下さい。
6. 表示が確認できる場所で使用して下さい。
7. ぬれた手で触らないで下さい。
8. 定格電圧、定格周波数で使用して下さい。
9. 本体裏の電圧設定スイッチは、使用する電源電圧に合わせて下さい。
10. 100V 電源使用時と 200V 電源使用時では、出力が変わります。電源電圧変更時には出力設定%を必ず変更して下さい。
11. 通常は設定%の変更は行わないで下さい。変更する場合は最大で通常設定%の 1.2 倍までで変更を行ってください。
12. 電源コードは確実に取り付けて下さい。
13. 使用する電源コードは同梱のものをご利用下さい。同梱のものをご利用なされない場合は、ケーブル径 18AWG～12AWG、 0.75 mm^2 ～ 3.5 mm^2 のものをご利用下さい。
14. 付属の電源コードは 100V 用です。200V で使用される場合は、別途電源コードをご用意下さい。
15. 必ずアースを確実に取り付けて下さい。
16. 電気工事士でなければ出来ない作業は、電気工事士が行って下さい。

1. 各部名称



発熱複層ガラスシステムは、ACパワーコントローラーとのシステム商品になっています。ACパワーコントローラーは接続する発熱複層ガラス用の出力値を工場出荷時に設定済みです。

2. 使用方法

2-1 設置方法

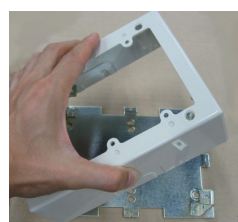
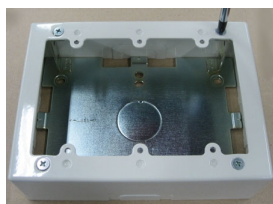
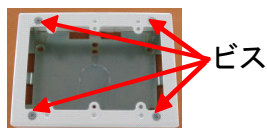
①カバーのキリカキ部分にマイナスドライバーを差し込み、カバーを外します。



②本体の4ヶ所のビスをプラスドライバーで外します。

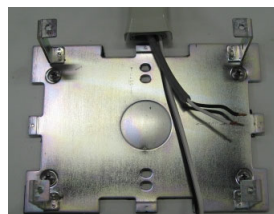
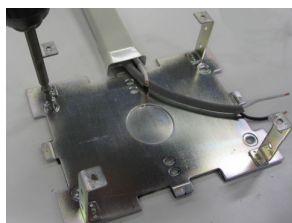
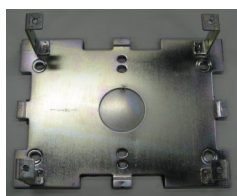


③ケースについた4ヶ所のビスをプラスドライバーにて外し、裏ベースを本体から外します。



④外した裏ベースを壁などに取り付けます。

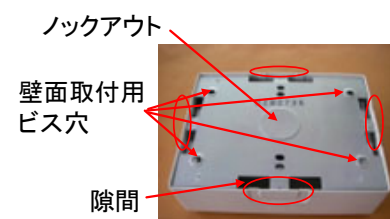
(ネジは付属しません、ご使用になる状態に合わせてご用意ください)



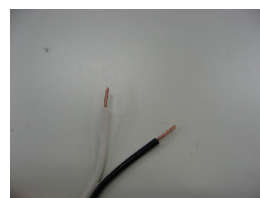
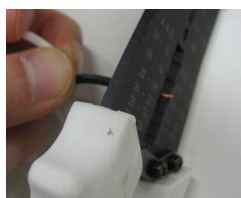
⑤モールをご利用になる場合は、ケースのモールにつながる部分のノックアウト部分をペンチ等で取り除き、ご利用下さい。



電源コード、リード線を本品の底から取り出す場合は、裏ベースの隙間及びノックアウト部をご利用下さい。

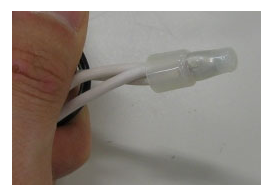
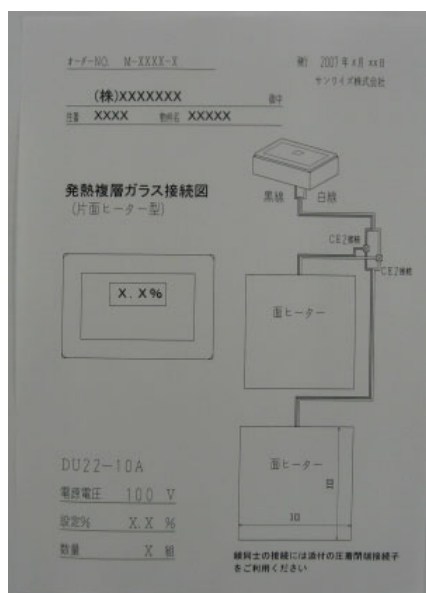


⑥発熱複層ガラスのリード線の被覆を5mm程度剥きます。

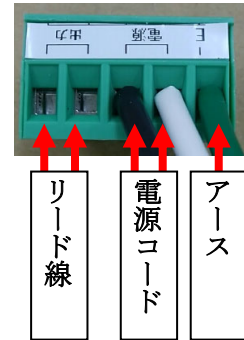


⑦発熱複層ガラスのリード線を添付された接続図に従って、付属の閉端圧着端子で接続します。

(片面発熱ペア1枚、2枚ガラス両面発熱ペア1枚の場合は、必要ありません。)



⑧本体から端子台アダプタを取り外します。



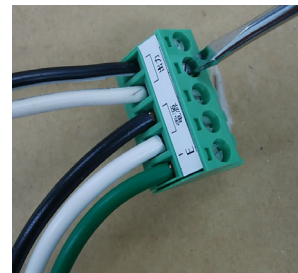
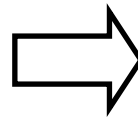
⑨接続図に従い発熱複層ガラスのリード線を端子台アダプタに接続します。
(刃先 2.4 mmの精密ドライバーをご使用下さい)



精密ドライバー



リード線を出力部の穴の奥まで差し込みます



端子台アダプタのネジを精密ドライバーで締めます。

(電気工事士でなければ出来ない作業は、電気工事士が行って下さい。)

・電源線が用意されている場合

⑩アダプタの電源に接続された線の被覆を剥がします。

⑪アダプタの電源に接続された線と電源線を付属の閉端圧着端子で接続します。

・電源コードを使用する場合

⑩アダプタの電源に接続された線を取り外します。

⑪電源コードの被覆を 5 mm程度剥き、電源コードを端子台に接続します。

⑫アース線を接続する場合、アダプタの電源に接続された線とアース線を付属の閉端圧着端子で接続します。

⑬端子台アダプタを本体に接続します。

(接続が確実に行われないと、サーキットプロテクタが作動する可能性があります。)



⑭本体をベースに取り付けます。

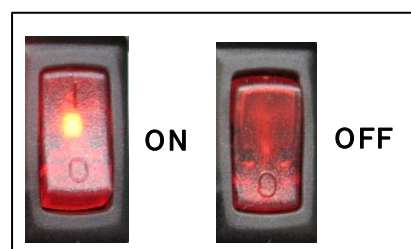


⑮カバーを取り付けます。



2-2 使用開始

- ①カバーのキリカキ部分にマイナスドライバーを差し込み、カバーを開けます。
- ②スイッチを入れます。
- ③設定%が本体に記載された標準設定%と同じであることを確認します。
- ④カバーを元に戻します。



2-3 設定%の変更方法 (通常は行わないで下さい)

- ①カバーを外します。
- ②設定変更ボタンを押すことにより設定を変更します。
- ③Aを押すと増加、Bを押すと減少します。



次の場合には設定の変更をお願いします。

- 1.出力が大きすぎる場合、または小さすぎる場合。(最大で標準設定%の1.2倍まで)
- 2.使用電源電圧を変更する場合。
- 3.発熱複層ガラスシステムの構成を変更した場合。

3. 「故障かな？」と思ったとき

3-1 表示される設定%が標準設定%と違う

- ・「2-3 設定%の変更方法」に従って、記載されている標準設定%に設定して下さい。

3-2 スイッチを入れても設定%が表示されない

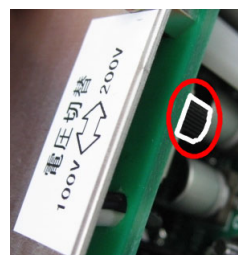
- ・サーキットプロテクタが作動した可能性、使用電圧が適切でない可能性があります。本体裏の電圧設定スイッチで設定された電圧で使用しているのか使用電圧の確認をお願いします。

①スイッチを切り、安全のため、主電源を切って（コンセントを抜いて）下さい。

②「2-1 設置方法」に従い、本体を露出させて下さい。

③本体裏の電圧設定スイッチを確認して下さい。

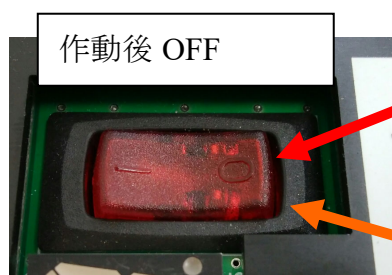
④使用電圧と違う場合は、電圧設定スイッチを変更して下さい。



↑ 200 V 利用時
↓ 100 V 利用時

⑤スイッチが浮き上がっていないか、確認してください。サーキットプロテクタが作動した場合、スイッチの OFF 側（下側）が浮き上がり、スイッチの ON, OFF が出来ません。

スイッチの ON 側には倒れますが、OFF 側には倒れきりません。



これ以上スイッチ
が下がらない

復帰には強く押す

⑥スイッチの OFF 側（下側）が浮き上がっていた場合は、スイッチの OFF 側を強く押し込んでください。

⑦安全のため、発熱複層ガラスのリード線のコネクタを一旦外します。

⑧主電源を入れて（コンセントを挿して）下さい。

⑨スイッチを入れて設定%を確認します。記載されている標準設定%と違う場合は、「2-3 設定%の変更方法」に従って設定%を変更して下さい。

⑩安全のため、スイッチを切り主電源を切って（コンセントを抜いて）から、発熱複層ガラスのリード線のコネクタを接続して下さい。

（コネクタの接続が確実に行われていないと、サーキットプロテクタが作動する可能性があります）

⑪「2-1 設置方法」に従って、使用状態に戻して下さい。

⑫主電源を入れて（コンセントを挿して）下さい。

⑬「2-2 使用開始」に従って、使用を再開して下さい。

⑭確認しても異常が見つからず、設定%が表示されない場合、装置の故障が考えられます。弊社までお問い合わせ下さい。

3-3 その他

- ・装置の故障が考えられます。弊社までお問い合わせ下さい。

仕様

電源電圧	AC100V(90～120V)、AC200V(180～240V) (100V/200V 電圧設定スイッチにて切り替え)
電源周波数	50/60Hz
負荷電流	最大 10A(推奨 7A 以下)
使用可能消費電力	最大 500W (発熱複層ガラスの大きさによる)
設定値(%)	発熱複層ガラスのW寸法(電極間距離)、使用電圧による
利用可能コード径	0.75 mm ² ～2.5 mm ² , 18AWG～14AWG
使用周囲温度範囲	0～50℃(直射日光の当たる場所での使用のなきこと)
使用周囲湿度	30～80%Rh(但し結露なきこと)
使用雰囲気	周囲に腐食性ガスのなきこと
制御方法	位相制御
本体寸法	幅:166.5(mm)×奥行:124(mm)×高さ:50.5(mm)
質量	1.2kg(電源コード含まず)

サンワイズ株式会社

〒424-0204 静岡市清水区興津中町848

Tel (代表) 054-360-3222 FAX 054-360-3227